

# アルネの将来像どんな姿描くか

公明党津山市議団

仁木 豊司

**質問** ↓ 学校に不審者が侵入する事件や登下校中の子どもが襲われる事件などが相次ぎ、子どもが安全が問題となっているが対策は。

**答弁** ↓ 警察、地域の育成会、PTA、関係機関との連携強化を図る。

**質問** ↓ 子どもが響くことは地域が活性化し人々に笑顔がこぼれる。合併後の少子化対策は。

**答弁** ↓ 合併協議の中で乳幼児医療費を就学前まで引き上げるなど具体的事業を

計画したい。

**質問** ↓ アルネを将来にわたり、どのような姿にしたいのか。当局が描くアルネの理想像とは。

**答弁** ↓ アルネを核としてサービスマン、公共施設も含めて幅広く検討し各種都市機能を複合的にコンパクトにすることが重要と考える。



# 風が吹けば桶屋が儲かるパート4

不羈の会

小栗 興治

**質問** ↓ 総合流通センターの現状と将来展望は。

**答弁** ↓ 景気も回復基調にあり、また、平成十四年度からリース制度を取り入れた結果、現在、分譲・リースを合わせて十八％の利用率である。

**質問** ↓ 全国の団地は同様の状況下にある。津山の団地に立地すれば、これが有利というセールスポイントを造るため、その一つの方策として廃棄物の処理コストが軽減でき、かつ、売電収入も得られるバイオマス発電が考えられないか。

か。そして、加工くずを出したり、熱を多量に消費する食品加工工業に的を絞って誘致してはどうか。

**答弁** ↓ バイオマス発電には、解決すべき多くの問題点もあるが、バイオマスの利用は国家戦略でもあるので前向きに研究したい。



# 草加部浄水場の取水口付近の水質検査を

津山再生クラブ

武本 淑男

**質問** ↓ 草加部浄水場の地元町内会の役員をはじめ地域の方々から産廃処分場等から出ている水へ強い不安を訴えている。市は産廃施設の監督官庁の県に早急な調査を要請すべきである。水道局は緊急に取水口西側から流入するどんな小さな流れも、谷川やため池などの水も水質検査をし、結果を公表すべきである。水道水保護条例の制定を急ぎ、水源の監視体制を確立すべきである。取水の安全確保の為に取水口を少し

上流に移動すべきである。

**答弁** ↓ 県に再調査を要請する。水質検査は毎月実施しており、全て良好なのでご指摘の検査は予定していない。条例は今後の検討課題とする。取水口は農業用水と供用施設で水利権もあり移動は困難である。



# 乳がん検診にマンモグラフィを

公明党津山市議団

川端 恵美子

**質問** ↓ 近年、乳がん罹患率がトップとなり乳がん死亡率の上昇が見られる。乳がんの早期発見に効果があるとしてマンモグラフィを導入した検診が進んでいると聞いている。従来より市は手で触れる視触診だけを行ってきたが新年度より市の乳がん検診にマンモグラフィの検診を実施するのか。がん予防への効果と実施概要についてお尋ねしたい。

**答弁** ↓ 市は乳がんの早期発見に向けて十六年度から五十歳から六十四歳までの偶数年の方を対象に視触診を併用した

マンモグラフィ検診を試行実施する。病巣の小さい早期がんの発見には大きな威力を発揮し、がん発見率も三倍以上の効果があると言われている。検診費用の自己負担は二千三百円を予定している。

